



## 「関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業」 情報発信戦略の策定及びポータルサイトのオープンについて

令和3年12月19日

広域産業振興局

広域産業振興局では、今年度から新規事業としてスタートアップ・エコシステムの形成に取り組んでいます。

このたび、「関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業」に係る情報発信戦略を策定するとともに、関西スタートアップ・エコシステムのロゴマークを作成し、ポータルサイト「関西スタートアップ・エコシステム」を令和3年11月29日にオープンしましたのでお知らせします。

今後、これらの取組を通じて、関西スタートアップ・エコシステムの魅力、ポテンシャル、将来性を国内外へ発信し、他エリアにはない特徴を広くアピールし、国内外の様々なリソース(スタートアップ、人材、投資家等)の集積を可能とする日本有数の研究開発型スタートアップの地「ディープテックバレー“KANSAI”」をブランドとして確立することで、2025年大阪・関西万博の開催を見据えたイノベーション創出促進、関西経済の活性化をめざします。

### 記

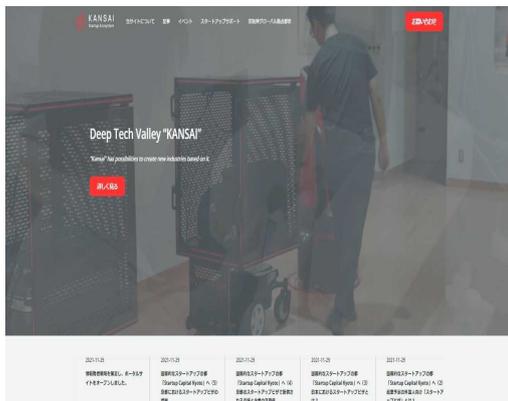
#### 1. 情報発信戦略

(1) 確立すべきブランド 「ディープテックバレー“KANSAI”」

(2) 具体的取組

- ・国内のカンファレンスやピッチイベントなどでの発信
- ・投資家が見る海外メディアへの発信
- ・有力スタートアップデータベースへの関西スタートアップの登録 等

#### 2. ポータルサイト「関西スタートアップ・エコシステム」及びロゴマーク



各構成府県市が直接更新可能なポータルサイトを作成。

本ポータルサイトを総合窓口として、情報を集約し、国内外のメディアへ情報発信を行う

○URL : <https://kansai-startup-ecosystem.com/>

○情報発信の主な内容 (今後の掲載予定を含む)

関西発スタートアップの情報、各構成府県市のスタートアップ支援情報、イベント、コミュニティ情報等





関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業  
関西広域連合  
情報発信戦略（2021-2024）

令和 3年 11月



## アジェンダ

1. 目的・概要・確立すべきブランドについて(p3-6)
2. ブランド確立の手法(p7-9)
3. 2024年度へ向けた戦略骨子・年度サマリー・具体的アクション(p10-15)

## 目的

関西スタートアップ・エコシステムの魅力・ポテンシャル・将来性を国内外へ発信し、他エリアと差別化し、国内外の様々なリソース(スタートアップ、企業、人材、投資家、ベンチャーキャピタル等)の集積を可能とするブランドを確立することで、関西経済の活性化をめざす

## 概要

関西には、優れた大学、研究機関、企業、支援機関等が集積し、多様な分野で世界トップレベルの研究が進められるなど、世界に通じるイノベーション創出の潜在力がある。また関西は、国内はもとより世界から「人・モノ・投資・情報」が集まり、イノベーションが生まれる地域として、世界の中で輝き、日本の未来を牽引することを目指している。

令和2年7月14日、大阪・京都・ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアムが、内閣府から世界と伍する拠点形成をめざす「グローバル拠点都市」として選定された。今後京阪神は、そのポテンシャルを世界に向けてPRしていくにあたり、国の情報発信支援の強化をはじめ拠点都市への集中的な支援を京阪神に留めず関西全域で活用することで、これまで関西で十分に発信できていなかった域内スタートアップ、大学、研究機

関の魅力を国内外へ周知でき、域外企業、投資家等を関西へ呼び込むことができる。

これらの活動を通して、**関西全域のエコシステムとして発展させ**ることで、関西経済の活性化、持続的な経済成長につなげていく。

## 確立すべきブランド

### 日本有数の研究開発型スタートアップの地 デイパーテックバレー“KANSAI”

関西には、優れた大学、研究機関、企業、支援機関等が集積し、多様な分野で世界トップレベルの研究が進められるなど、世界に通じるイノベーション創出の潜在力がある。また関西は、先端技術により人類がより生きるための未来社会を発信する2025大阪・関西万博を控え、国内はもとより世界から「人・モノ・投資・情報」が集まり、イノベーションが生まれる地域として、世界の中で輝き、日本の未来を牽引することを目指している。

特に高度な研究開発力が生み出す革新的技術により世界の課題解決を図る「デイパーテック」の分野において、関西は大学・企業・人材等の集積を強みに、バイオ・ヘルスケア・ライフサイエンス、マニユファクチャリング、情報・AI・ロボティクス等、様々な領域の技術シーズが日々磨かれている。

こうした特性は、世界有数のエコシステムを形成している米ボストンと共通項が多く、また研究開発型スタートアップを多く輩出する米シアトル、独ベルリンなどの強みとも重なる。

こうしたイノベーション創出力をスタートアップ創出を通じて発現し、社会に実装していくことで、いわば「アジアのボストン」のような地位を確立し、関西スタートアップ・エコシステムの国際認知度を向上していく。

1. 目的・概要・確立すべきブランドについて

# 研究開発型スタートアップ輩出のポテンシャル

地域別大学発ベンチャー企業数

地域	2018年度	2019年度	2020年度	2018年度からの増減率
北海道・東北	241	263	277	1.15倍
関東	1,070	1,193	1,404	1.31倍
中部	142	172	181	1.27倍
近畿	423	493	569	1.35倍
中国・四国	167	180	184	1.10倍
九州・沖縄	210	248	267	1.27倍

順位	大学名	件数
1	東京大学	326
2	京都大学	227
3	大阪大学	179
4	筑波大学	146
5	東北大学	142
6	九州大学	126
7	東京理科大学	111
8	名古屋大学	110
9	東京工業大学	100
10	早稲田大学	91
11	慶應義塾大学	90
12	デジタルハリウッド大学	88
13	立命館大学	61
14	北海道大学	54
15	広島大学	53
16	九州工業大学	45
17	龍谷大学	44
18	会津大学	39
19	神戸大学	38
20	名古屋工業大学	36

出所：経済産業省 令和2年度産業技術調査（大学発ベンチャー・実験等調査）報告書

### 関西から多くのノーベル賞受賞者を輩出 (日本人受賞者28人中16人)

○物理学賞

名前	受賞年	出身・学歴等/受賞理由
中村 修二	2014年	徳島大学工学部卒、徳島大学博士課程(工学) 世界中に向けて採用に供するレベルの高純度青 色蛍光ダイオードや青紫色半導体レーザーの製造 方法を発明、開発
赤崎 勇	2014年	京都大学理学部卒 高輝度で省電力の白色光源を可能にした青色 発光ダイオードの発明

○化学賞

名前	受賞年	出身・学歴等/受賞理由
田中 耕一	2002年	島津製作所(京都府)のシニアフェロー の発明
下村 脩	2009年	京都府福知山市出身 緑色蛍光タンパク質(GFP)の発見と生命科学 への貢献
吉野 彰	2019年	京都大学工学部卒、大阪大学大学院工学研究科 博士課程(工学) リチウムイオン電池の開発

○生理学・医学賞

名前	受賞年	出身・学歴等/受賞理由
山中 伸弥	2012年	神戸大学医学部卒、大阪市立大学大学院博士 課程、京都大学理学部医学研究所 様々な細胞に成長できる能力を持つiPS細胞の 作製
本庶 佑	2018年	京都大学医学部卒、京都大学大学院医学研究科 生理系博士課程 免疫抑制分子であるPD-1分子を同定し、 がん治療の応用に成功

## ◇リーディングカンパニーの集積

### ●国内製薬会社売上高(2019年度)

順位	企業名	売上高(億円)
1	武田薬品工業(株)	32,911
2	大塚ホールディングス(株)	13,962
3	アステラス製薬(株)	13,008
4	第一三共(株)	9,817
5	エーザイ(株)	6,956
6	中外製薬(株)	6,861
7	大日本住友製薬(株)	4,827
8	田辺三菱製薬(株)	3,798
9	塩野製薬(株)	3,349
10	協和発酵キリン(株)	3,058

※1. 1位の武田薬品工業は、製薬・医療機器メーカー

### ●関西に本社を置く医療機器メーカー

- ニプロ(株) [6]
- シスメックス(株) [6]
- オムロン(株) [10]
- (株)島津製作所 [13]
- (株)カネカ [18]
- タカラバイオ(株) [22]

### ●関西に本社を置く主な電機、エレクトロニクス関連企業

- ハナソニック(株)
- オムロン(株)
- (株)村田製作所
- (株)キーエンス
- (株)ジーエス・ユアサコーポレーション
- 住友電気工業(株)
- シャープ(株)
- 京セラ(株)
- ローム(株)
- (株)キーエンス
- (株)ジーエス・ユアサコーポレーション
- 日新電機(株)

※2. 1位の武田薬品工業は、製薬・医療機器メーカー

## ◇関西に進出している外資系企業の例

企業名	親会社の国/州	事業内容
アストラゼネカ(株)	イギリス	医療用医薬品の開発・製造・販売
サントビック(株)	スウェーデン	超導工具、特殊鋼、電気抵抗発熱材料、スチール、ヘルメット用プロセシシステムの入力製造・販売
シヨット日本(株)	ドイツ	気密端子、温度ヒューズ等の電子部品製造・販売
ダイスター・ジャパン(株)	シンガポール	薬品、特殊ガラス材料およびガラス製品の販売
日本イーライリリー(株)	アメリカ	薬料の製造・販売・輸出入
ネスレ日本(株)	スイス	医薬品、畜産薬の製造、輸入、販売、研究開発等
バイエル薬品(株)	ドイツ	飲料、食品、菓子、ベイト等々の製造・販売
アクトナ・ジャパン(株)	アメリカ	医薬品、医療機器、動物用医薬品の開発、輸入、製造・販売
同コー・エス・ジェイ	アメリカ	日本における洗剤・洗剤関連製品、化粧品、医薬品、化粧品などの開発・製造・販売、輸出入
		国内大規模な「マハーン」[USJ]の企画・運営、商品販売、飲食販売など

## 関西スタートアップ・エコシステムのブランド確立に向けて

- 関西はディープテック分野において高いポテンシャルを有しているが、スタートアップ・エコシステムとしてのステータスは、世界の他地域と大きな格差がある。
- しかしながら、ワールドワイドな競争力を得るためには、関西の有する優位性、強みを体現したブランド価値を確立することが不可欠であり、そのためには長期的な取組を継続する必要がある。
- そして、関西エコシステムにおいては、2025大阪・関西万博を控え、国内はもとより世界から「人・モノ・投資・情報」を誘引する機会を有している。
- このため、まずは、2024年度までを本戦略の期間と定めて、ブランド確立の一里塚とし、世界のエコシステム拠点との本格競争のスタートラインに立たなければならぬ。

※2024年度において、到達点を客観的な指標で評価するため、本戦略期間のKGIを定める。

## 本戦略期間において目指すべきKGI

本事業では、2024年までにライフサイエンス領域を中心としたエコシステムの評価を受け、データプラットフォーム「Global Startup Ecosystem Ranking」**30位以内**にランキングさせる（ボストンは5位）

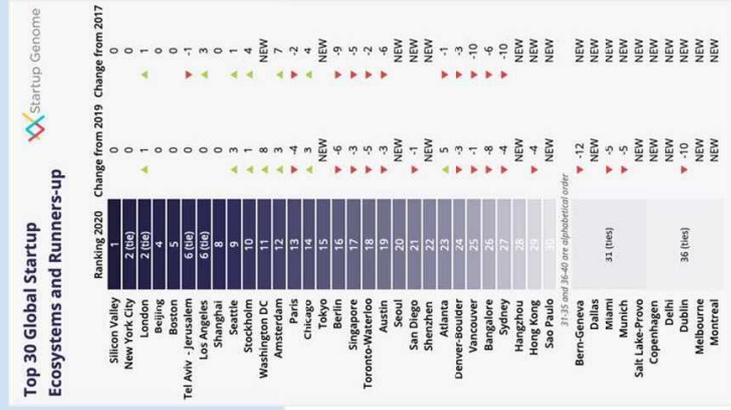
### 「Global Startup Ecosystem Ranking」とは

独立系の調査会社であるStartup Genomeが、世界150都市のスタートアップ・エコシステムを調査(年に一回)し、パフォーマンス、投資額、接続度、市場リーチ、ナレッジ、人材といった観点から各都市を評価してランキングを発表している調査レポート。

同社は過去10年にわたって世界中のエコシステムを研究していて、スタートアップデータベースのCrunchbaseやTNWといった世界有数のメディアとパートナーシップを組んでいる。

### Global Startup Ecosystem Ranking掲載の狙い

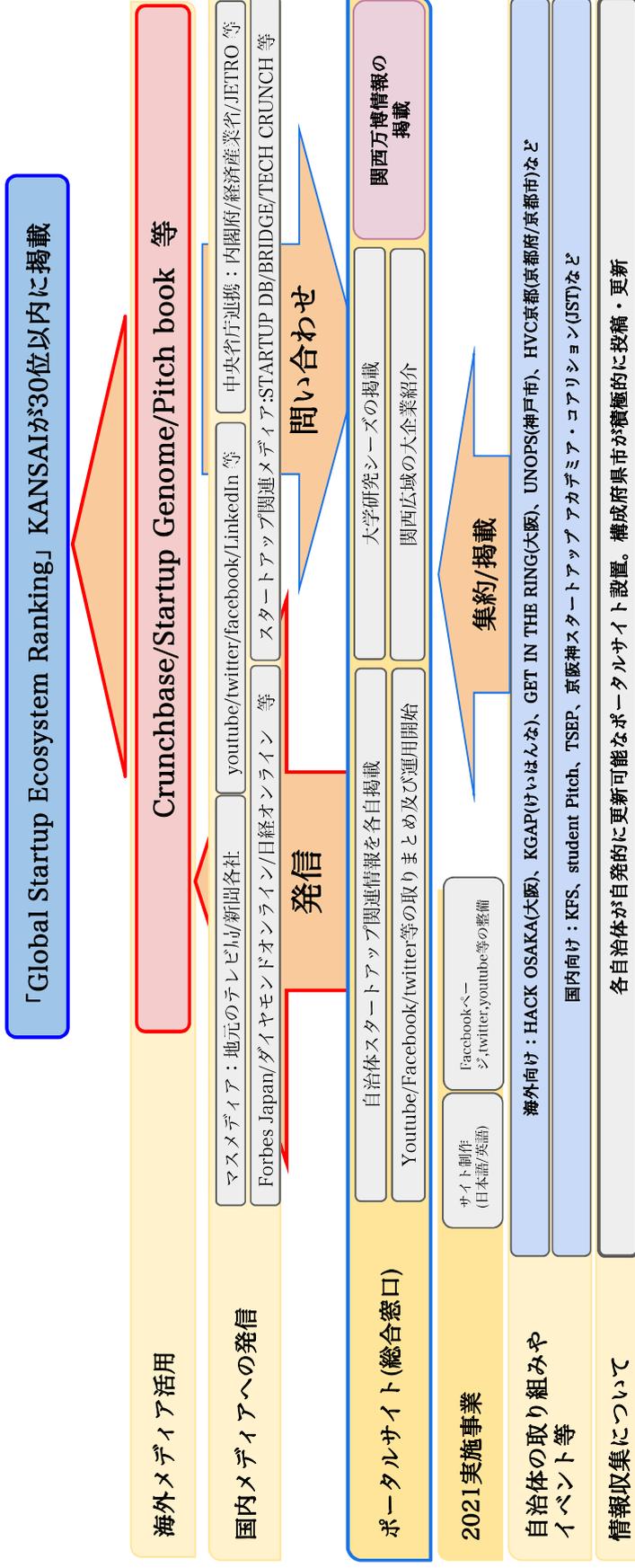
- 優秀な研究者が海外に出ていくことを防ぐ役割
- グローバルなスタートアップエコシステムにおける関西エリアのポジションを確立
- グローバルなスタートアップコミュニティへの関西エリアへのアテンション獲得と拡散
- ランクインというニューズバリューによる国内メディアへの訴求と拡散（東京に次いでランクインできればニューズバリューはより高まる）
- 上記による関西経済への波及効果



2.ブランド構築に向けて

## KGIを達成するための戦術

ランキング掲載に重要なこととして、**情報の解像度を高くしておくことが大切**。  
ポータルサイトを総合窓口として、情報集約→発信/問い合わせを繰り返すことで解像度が上がり、ランキング掲載が実現する、と仮定。



2.ブランド構築に向けて



発信コンテンツの選定基準と項目

KGIの「Global Startup Ecosystem Rankingの30位以内に入る」ために必要なコンテンツを中心に、関西広域エリアのスタートアップ情報や各自治体などによる支援情報を発信/可視化していく

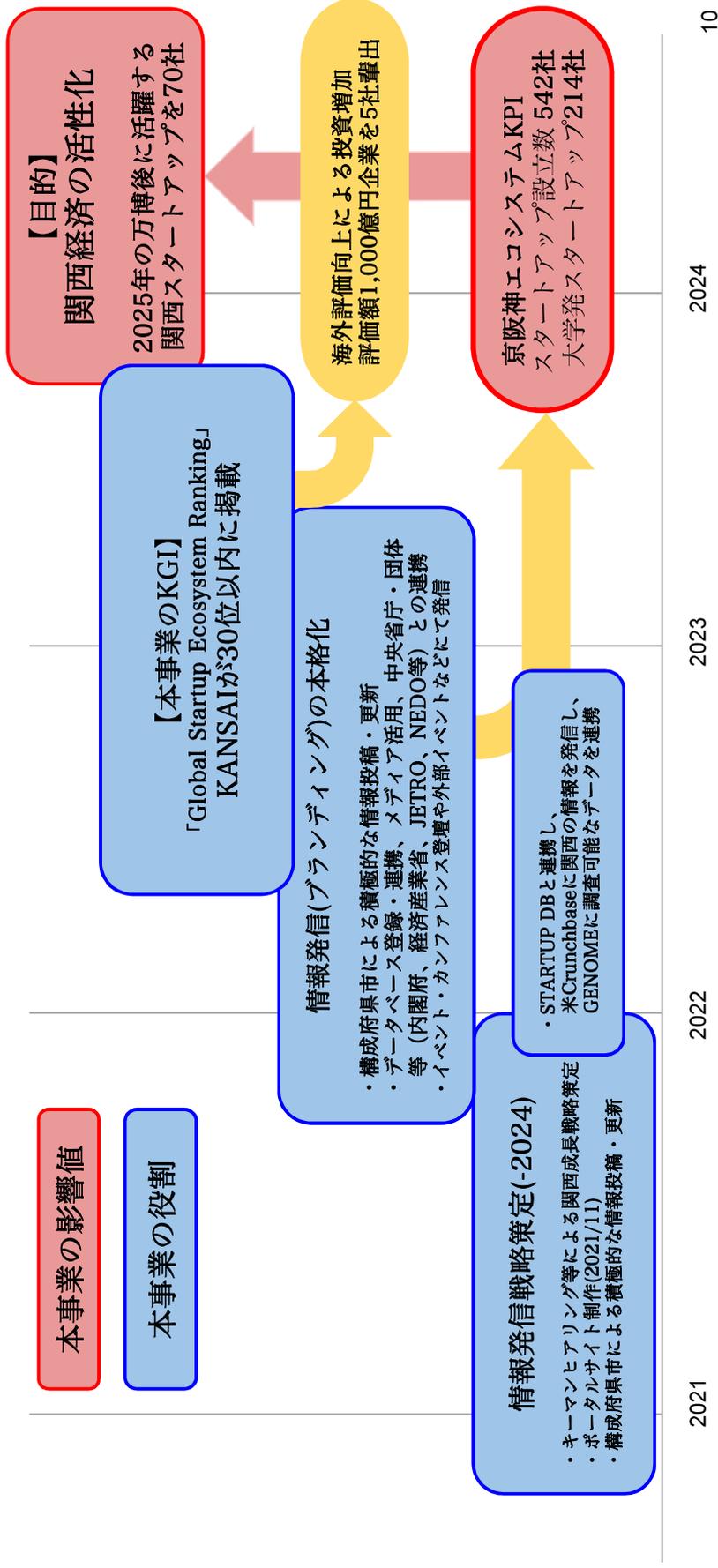
ボストンが評価されている内容 (Genome資料より)	関西広域が収集・発信すべきコンテンツ方針	関係各所/プレイヤー例	具体的な収集・発信項目 (Genome評価に繋がる情報)
様々な領域のスタートアップがいるエコシステム	関西に多いバイオ・ヘルスケア・ライフサイエンス、製造業、情報通信のスタートアップに関する情報	HACK大阪(大阪)、KFS、OIH、大阪HVC京都(京都府/京都市)、ANCHOR神戸などが発信するスタートアップやイベントなどの情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>【スタートアップ情報】</li> <li>■企業情報 企業名/設立年月日/住所/ロゴ</li> <li>■ファイナンス情報 資金調達金額/資金調達元</li> </ul>
大学発などのバイオ・ヘルスケア・ライフサイエンス分野に関する情報	バイオ・ヘルスケア・ライフサイエンスを中心とした大学発スタートアップや研究シーズに関する情報	京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(JST)、student Pitch、京大iCAPなどのフェアランド、各大学が発信するアカデミアを持つスタートアップ情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>■経営陣情報 役員名/役員略歴</li> <li>【コミュニティ情報】</li> <li>■コミュニティ/施設 施設名/住所/コミュニティ参加企業名/スポンサー/イベント情報</li> </ul>
製造業が強く、関連するスタートアップや生まれやすい環境	・当該エリアでの産学官連携 (オープンイノベーション) の実績や事例 ・当該エリアでの官・民が実施するオープンイノベーションプログラムの情報	TSEP、KGAP(けいはんな)、GET IN THE RING(大阪)、UNOPS(神戸市)など	<ul style="list-style-type: none"> <li>■イベント情報 イベント名/イベント概要/日付/参加企業/スポンサー/出典/登壇者名/</li> </ul>
複数のスタートアップコミュニティがある	・当該エリアでのエコシステムプレイヤー (VCやCVC、アクセラレーター、事業会社など) の情報 ・コワーキングスペースやインキュベーションベース、プログラムなどの情報	阪急阪神グループ、大和ハウス工業、ダイキン工業、シスメックス、500startups、Plug and play Japanなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>【各自治体の支援情報】</li> <li>■支援プログラム インキュベーションプログラム、アクセラレータープログラム、起業支援メニュー、補助金など</li> </ul>

3. 2024年度へ向けた戦略骨子・年度サマリ・具体的アクション



2024年までのロードマップ

情報発信戦略に基づき施策の実行及びKGIの達成により、関西スタートアップ・エコシステムの形成に情報発信面から寄与する。



3. 2024年度へ向けた戦略骨子・年度サマリー・具体的アクション

2024年までの戦略骨子

■ 確立すべきブランド：日本有数の研究開発型スタートアップの地デュープレックバレー”KANSAI”  
ボストン、シアトル、ベルリンのような、研究開発型の大学発ベンチャーを増やし、世界に伝える活動が重要

	①2021	②2022	③2023	④2024
ブランディングの 主な手法	ポータルサイトを制作	デュープレックバレーとして、Crunchbase含む海外媒体へ情報発信	「K2G (KANSAI to Global) スタートアップ」を選定・Crunchbase等への特集記事で発信 (約10社を想定)	翌年度の万博開催というインパクトを活用したイベントなど、大学発研究開発型デュープレックバレー集積地ブランドの海外向け発信/準備
データベース登録		・スタートアップDB等有カデーターベースへの関西スタートアップの登録 50社	・スタートアップDB等有カデーターベースへの関西スタートアップの登録 累計100社 ・英語情報の登録 50社 (Crunchbase等への登録)	・スタートアップDB等有カデーターベースへの関西スタートアップの登録 累計150社 ・英語情報の登録 100社 (Crunchbase等への登録)
域内スタートアップに関する 情報収集・発信方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集方法：システムを導入し、各自治体からスタートアップ情報を自動的に集約/更新する。</li> <li>・発信方法：構成府県市による積極的な情報発信</li> </ul> スタートアップを産業界/フェーズ別に整理し、調達上位スタートアップについて特集記事を組み込むなど、国内外に向け注目しやすい発信を実施（上述）。			
国内および海外メディアの 活用方法		国内：SDB、ForbesJapan 等 海外：Crunchbase、36Kr 等		
ポータルサイト、SNS等デジタル媒体の活用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポータルサイト構築及び運用</li> <li>・SNSアカウント開設 (Twitter, facebookなど)</li> </ul>	テキストリンク込の情報を他媒体にて発信/SEO施策の実施	Twitter, facebookなどのSNSアカウントフォロワー数増加のためのオンラインイベントを実施	
期待効果	域内情報の網羅性を担保 ※アクセスすれば全体感が掴める状態にする	関西スタートアップの動向や世界レベルで競争力ある関西スタートアップの情報発信により、海外からの注目度が向上する		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Global Startup Ecosystem Ranking」にて、KANSAIが30位以内に掲載</li> <li>・翌年の万博開催と関西スタートアップの認知を高め、海外投資家/事業家からのアプローチ数を拡大</li> </ul>

3. 2024年度へ向けた戦略骨子・年度サマリ・具体的アクション



### 各年度の主なアクション

	2021		2022		2023		2024	
	情報収集	発信活動	海外向け	国内向け/産学官連携	海外向け	国内向け/産学官連携	海外向け	国内向け/産学官連携
1 Q	—	—	—	—	—	—	—	—
2 Q	各都市エコシステム有識者へのヒアリング実施	—	—	—	—	—	—	—
3 Q	—	関西広域連合スタートアップ ポータルサイト作成	—	—	—	—	—	—
4 Q	—	ポータルサイトナビゲーションとしてのテキストリンク込みでのクランチベース寄稿(11回)	—	—	—	—	—	—

(ポータルサイト含め)域内11府県市スタートアップ関連情報へのアクセスを可能にする

※以後戦略期間を通じ、構成府県市はポータルサイト等を積極的に活用し、情報を発信

・構成府県市及び大学/研究機関へのフォロー（情報発信の促進）  
 ・全体パンフレットの作成  
 ・SNSアカウメント整備



各年度の主なアクション

2021

2022

2023

2024

	情報収集・データ登録	発信活動		年度Goal
		海外向け	国内向け/産学官連携	
1Q	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年情報まとめ</li> <li>↳ 想定時価総額/調達金額関西上位10社</li> <li>↳ (IPO情報)J startup KANSAI</li> <li>・データベース登録</li> </ul>	<p>6月:KANSAI 2021 まとめ記事を発信する。 ↳Crunchbase,Pitchbookなど</p> <p>※まとめ記事 関西スタートアップの資金調達動向、調達上位企業の詳細、その背景にあるエコシステムの紹介 等</p>	<p>【イベント情報】 HACK OSAKA, KFS, OIH, 大阪HVC京都、ANCHOR神戸などが発信するスタートアップやイベントなど (イベント名/イベント概要/日付/参加企業/スポンサー/出典/発行者名 等)</p> <p>【アカデミア情報】 京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(JST)、student Pitch、京大iCAPなどのフアンド、各大学が発信するアカデミア情報</p> <p>【競争力高い取組みへのフォーカス】 とつとつハイパフォーマンス、和歌山製造技術紹介、徳島大学LED研究、滋賀県SDGs・実証実験情報など</p> <p>【コミュニティ (施設) x 企業情報】 阪急阪神グループ、大和ハウス工業、ダイキン工業、シスメックス、500startups、Plus and play Japanなど (施設名/住所/コミュニティ参加企業名/スポンサー/イベント情報 等)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・上記情報等を中心に速報に発信 ・サイトアクセス情報の解析結果を構成府県市へフィードバック(半報)</p> </div>	<p>年度Goal</p> <p>(KPI)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有力スタートアップデータベースへの関西スタートアップの登録 50社</li> </ul> <p>(活動指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内：四半期に一度、関西以外のカンファレンスやピッチイベントなどで発信(4回)</li> <li>・海外：半期に一度、Crunchbase,Pitchbookなど投資家が見る海外メディアへの発信</li> </ul>
2Q	-			
3Q	<p>上半期サマリ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>↳ 想定時価総額/調達金額関西上位10社</li> <li>↳ (IPO情報)J startup KANSAI</li> <li>・データベース登録</li> </ul>	<p>11月:KANSAI 2022上半期 まとめ記事を発信する。 ↳Crunchbase,Pitchbookなど</p>		
4Q	<p>関西スタートアップ・エコシステムの情報発信イベント (データアップテックバレーとしての強み、産業特性、関西スタートアップの資金調達動向等) ※新型コロナウイルスの動向等により手法を検討</p>			



3. 2024年度へ向けた戦略骨子・年度サマリ・具体的アクション

各年度の主なアクション

		2021	2022	2023	2024
情報収集	上期	<ul style="list-style-type: none"> <li>2022年情報まとめ</li> <li>想定時価総額/調達上位10社</li> <li>L IPO情報</li> <li>データタベース登録</li> </ul>	<p>海外向け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月:KANSAI 2022 まとめ記事を発信。 L Crunchbase, Pitchbook など</li> <li>9月【スタートアップ情報(英語)】 <ul style="list-style-type: none"> <li>企業名/設立年月日/住所/ロゴ</li> <li>ファイナンス情報</li> <li>資金調達金額/資金調達元</li> <li>経営陣情報</li> <li>役員名/役員略歴</li> </ul> </li> <li>11月:KANSAI 2023 上半期 まとめ記事を発信。 L Crunchbase, Pitchbook など</li> <li>2月【スタートアップ情報(英語)】 <ul style="list-style-type: none"> <li>企業情報</li> <li>企業名/設立年月日/住所/ロゴ</li> <li>ファイナンス情報</li> <li>資金調達金額/資金調達元</li> <li>経営陣情報</li> <li>役員名/役員略歴</li> </ul> </li> </ul>	<p>国内向け/産学官連携</p> <p>【イベント情報】 HACK OSAKA, KFS, OIH, 大阪HVC京都, ANCHOR神戸などが発信するスタートアップやイベントなど (イベント名/イベント概要/日付/参加企業/スポンサー/出典/登壇者名 等) SNSフォロワー拡大に向けたオンラインイベント開催</p> <p>【アカデミア情報】 京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(JST)、student Pitch、大JCAPなどのフェアランド、各大学が発信するアカデミア情報</p> <p>【競争力高い取組みへのフォーカス】 とつとつパリイオフロンティア、和歌山製造技術紹介、徳島大学LED研究、滋賀県SDGs・実証実験情報など</p> <p>【コミュニティ(施設)×大企業情報】 阪急阪神グループ、大和ハウス工業、ダイキン工業、シスメックス、500startups、Plug and play Japanなど (施設名/住所/コミュニティ参加企業名/スポンサー/イベント情報等)</p> <p>・上記情報等を中心に適時に発信 ・サイトアクセス情報の簿折結果を構成府県市へフィードバック(半期)</p>	<p>年度Goal</p> <p>(KPI) ・有力スタートアップデーターベースへの関西スタートアップの登録 累計100社</p> <p>・スタートアップ英語情報の登録 (Crunchbase等への登録) 50社</p>
	下期	<ul style="list-style-type: none"> <li>上半期サマリ</li> <li>想定時価総額/調達上位10社</li> <li>L IPO情報</li> <li>データタベース登録</li> </ul>	<p>海外に向けて強くPRしていく関西スタートアップのセレクションを実施。記事化、海外・国内へ発信。 ・スタートアップが海外投資家/事業家との人脈を確保し、具体的なアプローチを可能とする支援施策を検討(海外コミュニティの紹介、海外イノベーションイベントへの出展支援等、新型コロナウイルス感染症の影響等を勘案)</p>		

3. 2024年度へ向けた戦略骨子・年度サマリ・具体的アクション



各年度の主なアクション

		2021	2022	2023	2024
					年度Goal
<p>情報収集</p>	<p>海外向け</p>	<p>国内向け/産学官連携</p>			
<p>上期</p>	<p>・ 2023年情報サマリ                      ↳ 想定時価総額/調達上位10社                      ↳ IPO情報                      ・ データベース登録</p>	<p>・ 6月:KANSAI 2023 まとめ記事を発信。                      ↳ Crunchbase, Pitchbook など                      ・ 9月【スタートアップ情報(英語)】                      ■ 企業情報                      ■ 企業名/設立年月日/住所/ロゴ                      ■ ファイナンス情報                      ■ 資金調達金額/資金調達元                      ■ 経営陣情報                      ■ 役員名/役員略歴</p>	<p>【イベント情報】                      HACK OSAKA, KFS, OIH, 大阪HVC京都、ANCHOR神戸などが発信するスタートアップやイベントなど                      (イベント名/イベント概要/日付/参加企業/スポンサー/出典/登壇者名 等)                      SNSフォローワー拡大に向けたオンラインイベント開催</p> <p>【アカデミア情報】                      京阪神スタートアップアカデミア・コアリジョン (JST)、student Pitch、京大KICAPなどのフェアンド、各大学が発信するアカデミア情報</p> <p>【競争力高い取組みへのフォーカス】                      とつとつパライオフロンティア、和歌山製造技術紹介、徳島大学LED研究、滋賀県SDGs・実証実験情報など</p> <p>【コミュニティ(施設)×大企業情報】                      阪急阪神グループ、大和ハウス工業、ダイキン工業、シンスメッククス、500startups、Plug and play Japan など                      (施設名/住所/コミュニティ参加企業名/スポンサー/イベント情報 等)</p> <p>・上記情報等を中心に随時発信                      ・サイトアクセス情報の解析結果を構成府県市へフィードバック(半期)</p>	<p>(KGI)                      「Global Startup Ecosystem Ranking」にて、KANSAIが30位以内に掲載</p> <p>(KPI)                      ・スタートアップDB等有力データベースへの関西スタートアップの登録                      累計150社                      ・スタートアップ英語情報の登録 (Crunchbase等への登録)                      累計100社</p>	
<p>下期</p>	<p>・ 上半期サマリ                      ↳ 想定時価総額/調達上位10社                      ↳ IPO情報                      ・ データベース登録</p>	<p>・ 11月:KANSAI 2024上半期 まとめ記事発信。                      ↳ Crunchbase, Pitchbook など                      ・ 2月【スタートアップ情報(英語)】                      ■ 企業情報                      ■ 企業名/設立年月日/住所/ロゴ                      ■ ファイナンス情報                      ■ 資金調達金額/資金調達元                      ■ 経営陣情報                      ■ 役員名/役員略歴</p>	<p>・ 「Global Startup Ecosystem Ranking」にて、KANSAIが30位以内掲載記念イベント                      ・ 翌年度の万博開催というイベントを活用したイベントなど、大学発研究開発型ディープテック集積地ブランドの海外向け発信/準備</p>	<p>※前年度までの取組みを勘案し、優先課題を見極めて柔軟に対応。</p>	

## 年度KPIサマリ

各年度Goal設定	
2021	(ポータルサイト含め)域内11府県市スタートアップ関連情報へのアクセスを可能にする
2022	(KPI) ・スタートアップDB等有力データベースへの関西スタートアップの登録 50社 (活動指標) ・国内：四半期に一度、関西以外のカンファレンスやピッチイベントなどで発信 ・海外：半期に一度、Crunchbase, Pitchbookなど投資家が見る海外メディアへ発信
2023	(KPI) ・スタートアップDB等有力データベースへの関西スタートアップの登録 累計100社 ・スタートアップ英語情報の登録 (Crunchbase等への登録) 50社 ※スタートアップが海外投資家/事業家との人脈を確保し、具体的なアプローチを可能とする支援施策を検討 (海外コミュニケーションの紹介、海外イノベーションへの出展支援等、新型コロナウイルス感染症の影響等を勘案)
2024	(KPI) ・スタートアップDB等有力データベースへの関西スタートアップの登録 累計150社 ・スタートアップ英語情報の登録 (Crunchbase等への登録) 累計100社 (KGI) 「Global Startup Ecosystem Ranking」にて、KANSAIが30位以内に掲載



関西広域連合  
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

**for**  
**Startups, Inc.**

すべては、スタートアップのために。